

| Minami Kyushu University Syllabus |   |         |   |                 |                                    |                |     |
|-----------------------------------|---|---------|---|-----------------|------------------------------------|----------------|-----|
| シラバス年度                            | 2021  | 開講キャンパス | 都城キャンパス   | 開設学科            | 子ども教育学科                            |                |     |
| 科目名称 [英語名称]                       | 特別支援教育課程論 [Curricula in Special Needs Education]  |         |   | 実務経験<br>教員担当    |                                    | アクティブ<br>ラーニング |     |
| 科目コード                             | 750140  | 授業形態    | 講義  | 単位数             | 2                                  | 配当学年           | 3年次 |
| 教員氏名                              | 瀬戸口 裕二  |         |   | 学位授与の方針<br>との関連 | DP1(1) DP2(1) DP3(1) DP3(4) DP3(5) |                |     |
| 授業概要                              | <p>本授業の目標は、特別な支援を必要とする子どもの実態を深く理解すると共に教育の意義と目的について理解し、教育の計画や展開のあり方を論ずる。そのことにより、制度や関連法規が整備されてきた経過と必然性について理解し、学習指導要領や教育課程の変化について学び、時代に即した「指導案」や「個別の指導計画」を作成する。また、専門家との連携を踏まえ、通級指導教室・特別支援コーディネーター・特別支援学校のセンターの機能役割を知り、質の高い「個別の教育支援計画」が求められていることを理解する。</p>  |         |   |                 |                                    |                |     |
| 関連する科目                            | 特別支援教育総論  |         |   |                 |                                    |                |     |
| 授業の進め方と方法                         | <p>毎回の授業にて、多様な授業形態を展開します。1回の授業の構成は下記の通りです。授業の前半では、「法的位置づけ」や「学術的な根拠(子どもの発達段階の特徴など)」について講義します【知識・理解の獲得】。後半では、グループディスカッションや課題解決・指導計画の作成等にて、前半の学びを深めるとともに、自らの考えをレポートやプレゼン等にて表現します。【汎用的技能の育成】。</p>   |         |   |                 |                                    |                |     |
| 授業計画                              | <p>第 1回:障害のある子どもの理解と指導<br/> 第 2回:改訂された特別支援教育の学習指導要領(準じた指導課程)<br/> 第 3回:視覚障害の教育課程<br/> 第 4回:聴覚障害教育の教育課程<br/> 第 5回:肢体不自由の教育課程<br/> 第 6回:知的障害教育の学習指導要領<br/> 第 7回:病弱の教育課程<br/> 第 8回:重複障害の教育課程<br/> 第 9回:特別支援教育における指導案作成の基本と指導案(教科)の作成<br/> 第10回:自立活動の基本と指導案(自立活動)の作成<br/> 第11回:個別の指導計画の作成(知的障害を中心に)<br/> 第12回:個別の指導計画の実際と内容検討<br/> 第13回:特別支援教育コーディネーターの役割と課題<br/> 第14回:個別の教育支援計画と専門家の連携<br/> 第15回:特別支援学校のセンター的役割と地域支援</p> <p>定期試験</p> |         |   |                 |                                    |                |     |
| 授業の到達目標                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障害児を中心に、特別支援教育課程の構造と特徴を理解する。</li> <li>・「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」について習得する。</li> <li>・「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を基にして、知的障害児の実態に応じた支援の在り方を具体的に考察することを目指す。</li> </ul>  |         |   |                 |                                    |                |     |
| 授業時間外の学修                          | <p>グループによる指導案、個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成が求められ、授業において発表し、相互ディスカッションによって評価されるために、事前にグループで協議したり学習したりすることが求められる。</p>  |         |   |                 |                                    |                |     |
| 課題に対するフィードバック                     | グループごとに課された課題は、相互ディスカッションと解説を持ってフィードバックされる。   | 評価方法    | 作成した指導案と個別の指導計画、個別の教育支援計画(60%)最終試験(40%)により総合的に評価する。 |                 |                                    |                |     |
| テキスト                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領、特別支援学校学習指導要領解説 総則等編(幼稚部・小学部・中学部)</li> <li>・文部科学省 特別支援学校幼稚部教育要領、小学部・中学部学習指導要領、高等部学習指導要領</li> </ul>   |         |   |                 |                                    |                |     |
| 参考書                               |   |         |   |                 |                                    |                |     |
| 備考                                |   |         |   |                 |                                    |                |     |